

実態から要求 として組織拡大

職 場 活 動 家 会 交 流 集 会

国 労 水 戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 菊池忠志
編集責任者 坂本公則

水戸地方本部は第11回職場活動家交流集会を6月14日・15日の日程で阿字ヶ浦海水浴場（ひたちなか市）が眺望できる会場で開催しました。職場活動家交流集会には、東日本本部伊藤隆夫執行委員をはじめ盛岡地方本部より菊池要悦執行委員、新屋敷幸二さん（北上工務分会副執行委員長）、阿部茂樹さん（北上工務分会）が

参加し総勢50名で組織拡大の経験を学び合いました。会議は、地方本部久保田重明組織部長より組織拡大の課題に沿って提起がされ、全体討論及び分散交流会（6分散会）を通し意見交換を図り、交流集会で討論された意見を、自らが組織拡大へどう繋げて行くかを全体で意思統一を図りました。



JAL不当解雇撤回闘争に対して出された2つの東京高裁不当判決は、目標人員の達成や巨額の利益計上など整理解雇の必要性がなかった事実を余すことなく明らかにした原告側の主張をことごとく無視し、司法の責任を放棄した極めて不当な判決であった。日本航空キャビンクルーユニオンが加盟するITF民間航空部会は、両判決がI

JAL不当解雇撤回報告集会

LO条約87号及び98号に明らかに違反しているとして社会正義を求める原告の闘いを支援することを表明している。原告はILOに緊急書簡を提出する共に、こうした国際世論を背景に不当判決を乗り越え、勝利まで闘い抜くことを決意しているが、いま全国各地で連鎖的に報告集会を開催している。すでに京都、名古屋、大阪に続き、20日福

岡、25日神戸、26日東京、7月5日に新潟で集会を予定しているが、各機関はJAL解雇撤回闘争を支援する立場から各地での報告集会に積極的な参加の取り組みを行うこと。

JAL不当解雇撤回6・26決起集会
▽6月26日（木）18時
▽東京・目黒中小企業センターホールにて

2014年12月茨城県議会議員選挙推薦
地方本部は第12回執行委員会（6月11日）で2名の推薦を決定しました。

- ◆社民党 玉造順一（42歳）
- ◆民主党 佐藤光雄（56歳）

訂正と詫言
・国労水戸15号（松井委員長を佐藤正幸書記長へ訂正）
・同16号（青木忠・大子地区分会を水戸地区第2分会へ訂正）



職場・地域の活動に自信を持ち、引き続き、組織拡大に全力をあげよう！



職場活動家交流集会に盛岡地方本部3名の方から報告を頂き、新屋敷幸二さんから「分会での国労加入に至るまで」と題し、北上工務分会組織拡大の経験について講演を頂き、国労に加入した若者はまだまだ少数です。若者の決意を無駄にしない、一人でも多くの若者を迎えようと報告し、最後に「出来ない理由より出来る理由、100の議論より1の実行を」と締めくくりました。また、同分会の阿部茂樹さんは、国労加入に至った気持ちから述べら

れ、組織加入に全力を挙げて行きたいと訴えました。菊池要悦執行委員（組織部長）は、キーワードは「仕事」であり、仕事を通じてつなかりを作ることが重要です。拡大にあたっては把握・分析・行動が重要であり、他労組合員の不平・不満を丁寧につかみ、目的意識的な関わりを計画的に進めることが重要です。参加者した役員からは、自信と確信の持てる講演で踏み出す力になったと話していました。